

この社会 あなたの税が いきている



「税を考える週間」

大転換時代におくる 「税を考える週間」 記念講演会

税を考える週間（11月11日～17日）の記念行事として、商工中金副理事長の大武健一郎氏（元国税庁長官）による講演会が開催されます。



大武健一郎氏

演題は「大転換時代の中、小企業と地域づくり」です。

日時：11月17日（金）14時～16時
会場：千葉県東総文化会館 定員：300人 入場無料 申し込み方法：11月10日（金）までに銚子税務署総務課へ電話またはファクシミリで連絡
☎0479・22・1571
FAX 0479・23・7750

売れる米づくりを推進 「そうさの米ブランド化」研修会

匠瑳市の米を、より良くし、ブランド化して売れる米づくりを推進するため、に、「そうさの米ブランド化」研修会が開催されます。研修会の内容としては、「産地を育てる米づくり」の講演が予定されており、講演者は、減農薬・減化学肥料の生産などの売れる米づくりに取り組んでいる、株式会社スズノブの代表取締役の西島豊造氏です。



参加される場合は事前にお申し込み下さい。
日時：11月8日（水）13時～16時30分 場所：市民ふれあいセンター第3会議室 参加費：500円 募集人数：先着60人

申込期限：10月31日（火）申し込み・問い合わせ：産業振興課 農政班 ☎73・0089、海匠農林振興センター 振興普及部 良普及課 ☎62・0334

海匠地域

「食育シンポジウム」開催

日時：10月31日（火）13時～16時30分 場所：千葉県東総文化会館小ホール 内容：講演「食文化の伝承と食育のすすめ」講師：服部津貴子（服部栄養研究会会長）。パネルディスカッション「広げよう食育」。タウンミーティング「千葉県食育推進基本計画の策定に向けて」参加費：無料 募集人数：250人 定員になり次第締め切り 申し込み・問い合わせ：産業振興課 農政班 ☎73・0089 FAX 72・1117、千葉県海匠農林振興センター 企画調整室 ☎62・0156 FAX 64・2502

石綿を原因とする 疾病により死亡した 労働者のご遺族の方へ 特別遺族給付金

中皮腫や肺がんなどの石綿ばく露を原因とする疾病は、発症までの潜伏期間が非常に長期にわたるため、時効により労災保険給付を受ける権利を失っている人がいます。今年3月に施行された「石綿による健康被害の救済に関する法律」により、このような人の遺族に対して特別遺族給付金が支給されることになりました。該当者は早めに請求してください。

石綿ばく露を原因とする疾病のり患者や遺族に対してはさまざまな給付制度があります。石綿による健康被害に心当たりのある人はご相談ください。

問 千葉労働局
☎043・221・4313

国や地方公共団体は、住民のみなさんが豊かで安定した暮らしができるように、社会保障の充実、住宅や道路の整備、教育や科学技術の振興など幅広い分野にわたる活動を行っています。この財源は税によって賄われています。

国税庁では、11月11日～17日を「税を考える週間」として次のような啓発活動を行います。

中学生の税に関する作文展等
日時：11月17日（金）～19日（日）9時～20時 場所：八日市場公民館1階 エントランスホール
税理士会による税の無料相談
日時：11月18日（土）13時～16時 場所：八日市場公民館1階 エントランスホール
問 税務課市民税班
☎73・0087

もっと知りたい 介護保険Q & A



Q：介護認定申請を考えています。申請時には主治医の意見書が必要と聞いたのですが、どの様にしたらいいのですか。
A：介護認定申請書を提出する時には、ご本人の主治医が誰であるかを記入していただくようになっています。これは介護申請にあたり、医学的に身体状況がどのような状況にあるかを、介護保険ではどのようなサービスが必要であるかを総合的な意見としてご記入いただくためです。

介護保険の申請者が、申請書に自分の主治医が誰であるかを記入すれば、市役所から記入された主治医に意見書の用紙を送付し、市役所へ返送いただくようになります。意見書作成料については介護保険で負担しますので本人負担はありません。

では主治医はどの様に決めていけばよいのでしょうか。普段から診察を受けたり継続的な治療を行っているかかりつけ医が主治医となります。

普段からかかりつけ医がいない方は、意見書を作成するために診断を受けなければなりませんので介護の相談や申請時に医療機関の誘導を窓口で行います。併せて「診断命令書」を用意しますので医療機関に提出し診断を受けてください。

介護認定において主治医の意見書は、認定調査と並びたえらるのであれば車輪の両輪の関係に当たります。どちらかが欠けても正確な介護認定は行えません。認定申請書を提出する際には新規・継続に関係なく主治医にあらかじめ相談し必要な場合は診断を受けてください。

また、かかりつけ医がいない方は、日ごろから体のことを相談できる身近な医療機関を確保（把握）しておくといでしょう。

不明な点などは高齢者支援課へお問い合わせください。

問 高齢者支援課 ☎73-0033



バイオマス・プラスチック製の植木ポット

環境に配慮した新素材

バイオマス・プラスチックを ご存知ですか？

今「バイオマス・プラスチック」という新しい素材が注目されています。

この「バイオマス・プラスチック」を使用する利点としては、この新素材を分解して発生した二酸化炭素は、もともとは動植物が成長する過程で体内に吸収したもので新たに大気中の二酸化炭素を増加させないため、地球温暖化を促進させない資源であることです。

また、「バイオマス・プラスチック」は麦わら、とうもろこしなどの再生可能な有機性資源を

原料としていることから、限りある石油資源の節約につながる

ことが挙げられます。
さらに、「バイオマス・プラスチック」は回収してリサイクル利用したり、土の中で分解させて土に戻すことができるので、資源を繰り返し有効に利用する「循環型社会」づくりに役立ちます。

市では、市内の植木栽培農家で組織された「そうさバイオマス・プラスチック栽培組合」が取り組んでいる「バイオマス・プラスチック製植木ポット」を使った植木生産を支援するなど、「バイオマス・プラスチック」の有効利用を積極的に推進しています。

問産業振興課農政班

☎73・0089

農作業を通じて交流 そばづくり体験実施

8月19日に豊和地区の通称「飯塚開畑」で、そばの栽培の一連作業（種まき・収穫・そば打ち）を行うそばづくり体験が始まりました。

そばづくり体験は、農地の有効活用と都市部住民との交流を目的としたもので、地元農家などで構成する「飯塚農地開発畑地かんがい営農対策推進会議」が主催しています。

当日は、市内外から28人が参加し、地元農家が提供した約10アールの体験用の畑で、肥料の散布の後、1組あたり1列約25mを担当して条まき用すじつけと種まき作業を行いました。



「おいしいそばが育つといいな」

今後は、10月21日に収穫し、11月下旬～12月上旬をめどにそば打ちが行われる予定です。
そばの開花期は9月下旬から

10月初旬で、きれいな白い花を咲かせます。ぜひ一度、ご覧ください。

問産業振興課農政班

☎73・0089

処理は 適正には

農業用廃プラスチック回収

料金：1kgにつき13円

回収品目：農業用ビニールおよびポリ・肥料空き袋（糸入り塩化ビニールなどは回収できません）

搬入時の注意事項

ビニールとポリは必ず分けてください。

ビニールは、厚さ0.1mmと0.05mmを分けてください。

石、金属、木片などを混入しないでください。

マイカー線は使用しないでください。

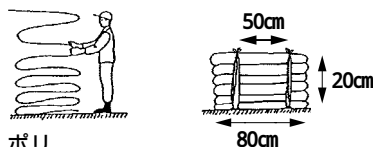
問産業振興課農政班

☎73・0089

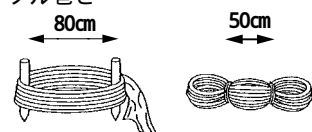
実施日時：10月17日（火）、18日（水）9時～15時
回収場所：JAちばみどり八日市場支店（市役所隣）

こん包の規格など
重量…約15kg程度まで
結束…集荷資材と同種類のもの（集荷資材を切って使用）

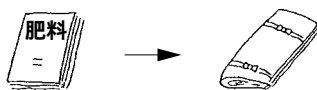
こん包方法
・ビニール
づづら折り



・ポリ
ビニールと同じか、杭を利用したグルグル巻き



・肥料空き袋
10枚～20枚程度重ねて 縦に半分に折る



上下2か所を、空き袋を切って作ったひもで縛る

上記以外の規格で搬入された場合は、処理工場で受け入れてもらえないため、こん包をやり直していただく場合がありますので注意してください。なお、水分、土砂はなるべく付着させないようお願いいたします。